

⑩ マットスプレーの夏季・冬季対策

夏季対策

● 簡易テントで材料を管理

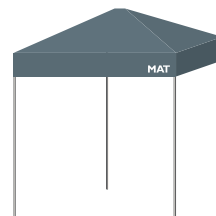
炎天下に材料を放置しておくとも材料の温度が上がってしまうため、簡易テントを設置し日陰を作るようにしてください。

特にバインダーや水の温度には注意を払ってください。

温まったバインダーや水を使用すると、ネタ材を作っている間にも硬化が始まってしまう、取扱いが難しくなります。

ネタ材が硬くなった場合は水を追加し、毎回同じ硬さになるように確認しながら作業を行ってください。ただし、

水の入れすぎにはご注意ください。



● シーラーをソルベント(キシレン)で希釈する

夏は気温が高いためシーラーを塗布する際、

シーラーに含まれるソルベント(キシレン)が揮発します。

ソルベントが揮発するとアクリル分が多くなり、

塗布しづらくなります。シーラーを半分くらい使ったら、ソルベントを0.5ℓ~1ℓ追加し、薄めて使用してください。



冬季対策

● プロパンバーナーを使用する

冬季の施工で問題となるのが“乾きの悪さ”です。

吹付け材をスプレーしたあと、完全に乾くまでの待ち時間が

夏に比べると数倍にもなります。そこで、待ち時間を減らす方法としてプロパンバーナーのご使用をお勧めします。それにより、

施工時間をかなり短縮させることができます。ただし、

下記注意事項を厳守してください。



- ◆バーナーの口を下に向けて使用する。
- ◆バーナーの口を絶えず動かしながら使用し炎が一点に集中しないようにする。
- ◆炎が透明で見えづらいため床との距離を十分にとって使用する。
- ◆建物付近での使用は控える。

● 吹付け材に使用する水を温める

冬季に冷たい水をそのまま使用すると、硬化が遅くなり固まるまでに時間がかかります。時間を短縮するために温めた水のご使用をお勧めします。



● 1日目の作業が完了したらブルーシートで覆っておく

夜露が降りそうなどときには、1日目の作業完了後に吹いた箇所をブルーシートで覆っておくと、夜露を避けることができ、2日目の作業にスムーズに入れます。